



【 「最強の学習発表会」 になりました 】

- 本日の学習発表会、多くの方々に参観していただき、ありがとうございました。どの学年も、練習や児童向け発表会するときよりも、数段レベルアップしていました。今回の学習発表会を見て、私は幾つものことを思いました。
- 一つ目は、**どの学年も日頃の学習が充実している**ということです。学習発表会は、**日頃の学習の成果を表現する場**です。これは、私が約30年間こだわり続けてきたことです。国語、社会、音楽、体育、生活、総合等での学習で何を学んだのか、よく伝わりました。**日頃の学習が充実しているからこそ、表現できる**のです。
- 二つ目は、**どの学年も少しずつ表現力が高まっている**ことです。これは、「**相手に伝えよう**」という強い気持ちが必要です。この気持ちが多くのお客の方に伝わったのではないのでしょうか。そして、それを実現させたのは、教員の指導はもちろんありますが、**観客の方の観る・聴く姿**が大きいということです。私は、教職員に「**よい聴き手は、よい発言者を生む**」と言っています。これは、学習発表会も同じで、「**観客の方の真摯に観よう・聴こう**」という姿が、**表現する子供を育てている**と思わざるを得ないのです。**観客のステージに向ける眼差し、手拍子や拍手**などが大きな要因です。
- 三つ目は、**子供たちが前面に出ていた**ことです。教員の出は少なく、可能な限り裏方に徹していました。各学年の最初のアナウンスも各学年の子供が言い、楽器や跳び箱、ステージ上の大道具などの移動も、ほとんど子供が行っていました。**自分たちで学習発表会を創り上げる姿勢**を感じました。
- また、合唱部と「井波っ子 チャレンジステージ 2022」に出た子供たち、係活動などで支えてくれた子供たち、教職員やPTA役員の方々など、多くの方からも力をもらいました。私は、**「最強の学習発表会」だったと自信をもって言いたい**です。

